



子どもが豊かに育つために、 私たちに何ができるか考えよう

①5/31(土) 14:00~16:00

小金井の学校での人権教育はどうなっているの？

～不登校の変遷から見える 子どもの姿をもとに～

講師：大熊 雅士さん

(小金井市教育長)

②6/14(土) 14:00~16:00

子どもが相談できる場所

～子どもが困ったとき・悩んだとき～

講師：半田 勝久さん

(小金井市子どもオンブズパーソン)

③6/28(土) 14:00~16:00

子どものメンタルヘルスの現状

～子どものいのちを守ろう！ 私たちにできること～

講師：高橋 聡美さん

(医学博士・中央大学人文科学研究所
客員研究員)

知っていますか？いじめや不登校、子どもの自殺が
年々増えていること

あなたの近くの子どもたちは元気ですか？子ども時
代を子どもらしく過ごしていますか？言いたい事を
言えているでしょうか？

子どもは人と人との関わりの中で育っていきます
隣の人の悩みはあなたの悩みになるかもしれません
社会の中で生きる子どもたち

安心して成長するために、どんなことを大切にしてい
けばいいか、一緒に考えてみませんか

大歓迎！
子ども参加

④7/5(土) 14:00~16:00

子どもの権利ってなあに？

～子どもの権利かるたで遊んで知ろう～

講師：甲斐田 万智子さん

(認定NPO法人 国際子ども権利
センターシーライツ代表理事)

⑤7/12(土) 14:00~16:00

一人ひとりの子どもの声を聴く

～乳幼児の子どもの育ちを考える～

講師：五十嵐 元子さん

(白梅学園大学准教授)

場 所 小金井市公民館本館

対 象 市内在住、在勤、在学の方

定 員 各回 30人(定員を超えた場合、20人まで
は別室で音声のみの聴講・多数抽選)

保 育 あり(2歳以上)

参加費 無 料

お申し込み方法

5月14日(水) (必着)迄に、申込フォーム、Eメールまたは往復はがきに①住所②
氏名(フリガナ)③年代④電話番号⑤参加希望の回の番号(複数回参加可)⑥保育の有
無(有の場合はお子様の名前、月齢)を明記し公民館本館「子どもの人権」係へお申
し込みください。

問合せ電話番号：042-383-1184

住所 〒184-0004 本町2-15-11 ☎ k020499@koganei-shi.jp

申込フォーム→



【案内図】



〈過去の講座の感想〉

小金井市子どもの人権講座は2007年から始まり、今年度で19回目です。この講座は準備会が開催され、子どもの権利をわかりやすく学ぼうと、公民館職員、企画実行委員、市民が相談しながら作っています。

これまで行ってきた講座のほんの一部ですが、感想を抜粋してご紹介します。

(※講師の肩書は当時のものです。感想は個人が特定されない形で掲載します。)

泣いたときはどうするの？～自主性・主体性とわがままの違い～ 2015. 6. 5

講師：柿田雅子さん（実践女子大学非常勤講師・元公立保育園園長）

【感想】乳幼児期の発達段階に示す行動の意味がよく理解できました。子どもの「いやだいやだ」に困っていましたが「いやだ」はとても大事なことだということや、子どもにとって受け止めてもらうことの大切さについて聞くことができてよかったです。「わがまま」と言われて育った自分ですが、本当にそれはわがままだったのかな…？と思いました。

自分を大切にすること～子どもの人権とは～ 2017. 6. 15

講師：三坂彰彦さん（弁護士）

【感想】子どもにも大切な人権があることを改めて認識しました。親の「よかれ」という思いが子どもを追い詰めてしまうことがある、また、教育虐待ということもあるのだと知りました。もう一度自分の子どもに対する言動などを振り返るよい機会になりました。ありのままの子どもを大好きと言えるように、そして子ども自身が「自分を好き」と思える子に育ててほしいと強く思いました。

生きる力を育むため～なにげない時間の大切さ～ 2018. 6. 6

講師：増山均さん（早稲田大学名誉教授）

【感想】子どもがする余計なこと無駄なことを受け止められないことがありましたが、子どもには遊びや余暇、のんびりする権利があることを知りました。将来が心配すぎて、子どもが失敗しないように先回りして声をかけ、子どものやる気を奪っていたかもしれません。「価値を問わない時間」を子どもと大切にしようと思いました。

子どものためって何だろう～見えますか、子どものシグナル～ 2019. 5. 30

講師：広木克行さん（神戸大学名誉教授）

【感想】心にしみる話で涙がでて困りました…。子どもの甘えを受けとめていいということ、逃げ場があっていいということ、とてもうれしい言葉でした。いつも怒ってばかりなのですが、帰ったら子どもをやさしく抱きしめようと思います。我が子と共に育ちあっていきたいと思います。

家庭でできる性教育～性の健康をたいせつに考えること～ 2020. 6. 11

講師：土屋 麻由美さん（NPO法人ピッコラーレ副代表・助産師）

【感想】毎回、性教育の講座には感動しますが、今年も期待にたがわぬ内容で、もっと多くの人に聞いてもらいたいと思いました。性に関する話だけでなく、性教育＝人権教育という考え方がとても心に残りました。子どもの命、心を守るために親子で話せる機会を作れたらと思いました。

子ども・若者の声にできないSOS～なぜ子どもの自殺が多いのか？～ 2022. 7. 22

講師：松本 俊彦さん（国立研究法人国立精神・神経医療研究センター精神保健研究所薬物依存研究部 部長）

【感想】市販薬乱用の増加や子どもの自殺や自傷行為の背景にある困難について深く理解できました。「死にたい」を「つらい」に変えられる支援について聞くことができ、自分ができる事の一步を踏みだす勇気をもらいました。子どもたちにも正確な情報を伝える必要性を感じましたし、より多くの人に参加できる機会が必要だと思いました。